

第99期業務報告書

令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日



ごあいさつ

会員の皆様には、常日頃より白河信用金庫をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

当金庫の令和4年度決算内容がまとまり、去る6月16日に「第72回通常総代会」が開催されました。当日、第99期の決算概況並びに剰余金処分案を付議しご承認を賜りましたので、ここに謹んでご報告を申し上げます。

さて、国内及び県内の経済情勢は緩やかに持ち直しているものの、人口減少や少子高齢化時代を迎えている中、新型コロナウイルス感染症の影響やエネルギー関係の物価高騰による影響もあり、地域金融機関を取り巻く金融環境も大きく変化してきて、大変厳しい状況となっております。

そのような中、白河信用金庫は、お客様と共に豊かな地域の未来を創造し、経営の効率化と収益力の向上に取り組むために、新たな3か年の「新中期経営計画」を策定し、計画の2年目となる令和4年度におきましては、計画以上の数字を確保することができました。これもひとえに、お取引お客様のご愛顧の賜物と厚く御礼を申し上げる次第であります。計画の最終年度となる今年度におきましても、役職員が一致協力して「夢と希望の実現へ未来を変えていく」を合言葉に、計画達成に向け邁進して参ります。

白河信用金庫は、中小企業の専門金融機関として、金融仲介機能の発揮に努め、地域経済の活性化に向けて全力で取り組んで参ります。引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月吉日

理事長
牧野富雄

第99期 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|-------------|----------|-------------------------|---------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 現金 | 3,193 | 預金積金 | 243,600 |
| 預け金 | 69,801 | 当座預金 | 1,499 |
| 買入金銭債権 | 182 | 普通預金 | 132,895 |
| 有価証券 | 85,759 | 貯蓄預金 | 1,296 |
| 国債 | 3,272 | 通知預金 | 535 |
| 地方債 | 4,453 | 定期預金 | 102,512 |
| 社債 | 44,670 | 定期積金 | 3,551 |
| 株式 | 3,000 | その他の預金 | 1,309 |
| その他の証券 | 30,362 | 借入金 | 3,500 |
| 貸出金 | 100,396 | 借入金 | 3,500 |
| 割引手形 | 120 | その他負債 | 435 |
| 手形貸付 | 3,200 | 未決済為替借 | 49 |
| 証書貸付 | 93,828 | 未払費用 | 51 |
| 当座貸越 | 3,246 | 給付補填備金 | 1 |
| その他資産 | 1,441 | 未払法人税等 | 119 |
| 未決済為替貸 | 26 | 前受収益 | 26 |
| 信金中金出資金 | 941 | 払戻未済金 | 0 |
| 前払費用 | 0 | 職員預り金 | 102 |
| 未収収益 | 260 | リース債務 | 14 |
| その他の資産 | 212 | その他の負債 | 71 |
| 有形固定資産 | 2,784 | 賞与引当金 | 85 |
| 建物 | 1,306 | 役員賞与引当金 | 15 |
| 土地 | 1,256 | 役員退職慰労引当金 | 224 |
| リース資産 | 0 | 偶発損失引当金 | 31 |
| その他の有形固定資産 | 221 | 債務保証 | 1,071 |
| 無形固定資産 | 145 | 負債の部合計 | 248,964 |
| ソフトウェア | 127 | (純資産の部) | |
| リース資産 | 13 | 出資金 | 1,097 |
| その他の無形固定資産 | 4 | 普通出資金 | 1,097 |
| 前払年金費用 | 232 | 利益剰余金 | 16,698 |
| 繰延税金資産 | 132 | 利益準備金 | 1,097 |
| 債務保証見返 | 1,071 | その他利益剰余金 | 15,600 |
| 貸倒引当金 | △1,241 | 特別積立金 | 14,142 |
| (うち個別貸倒引当金) | (△1,148) | (創立100周年記念積立金) | (70) |
| | | (地域貢献積立金) | (32) |
| | | 当期未処分剰余金 | 1,458 |
| | | 処分未済持分 | △0 |
| | | 会員勘定合計 | 17,795 |
| | | その他有価証券評価差額金 | △2,861 |
| | | 評価・換算差額等合計 | △2,861 |
| | | 純資産の部合計 | 14,934 |
| 資産の部合計 | 263,898 | 負債及び純資産の部合計 | 263,898 |

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第99期 損益計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：千円)

| 科目 | 金額 |
|--------------|-----------|
| 経常収益 | 2,766,040 |
| 資金運用収益 | 2,224,717 |
| 貸出金利息 | 1,223,460 |
| 預け金利息 | 128,381 |
| 有価証券利息配当金 | 848,672 |
| その他の受入利息 | 24,202 |
| 役務取引等収益 | 313,798 |
| 受入為替手数料 | 134,294 |
| その他の役務収益 | 179,504 |
| その他業務収益 | 17,544 |
| 国債等債券償還益 | 195 |
| その他の業務収益 | 17,348 |
| その他経常収益 | 209,979 |
| 貸倒引当金戻入益 | 100,152 |
| 株式等売却益 | 104,573 |
| その他の経常収益 | 5,253 |
| 経常費用 | 2,225,674 |
| 資金調達費用 | 22,529 |
| 預金利息 | 21,568 |
| 給付補填備金繰入額 | 481 |
| その他の支払利息 | 478 |
| 役務取引等費用 | 174,267 |
| 支払為替手数料 | 29,565 |
| その他の役務費用 | 144,702 |
| その他業務費用 | 109,478 |
| 国債等債券償還損 | 109,427 |
| その他の業務費用 | 51 |
| 経費 | 1,872,838 |
| 人件費 | 1,153,481 |
| 物件費 | 645,337 |
| 税金 | 74,019 |
| その他経常費用 | 46,561 |
| 株式等売却損 | 38,394 |
| その他の経常費用 | 8,166 |
| 経常利益 | 540,366 |
| 特別損失 | 3,789 |
| 固定資産処分損 | 1,739 |
| その他の特別損失 | 2,050 |
| 税引前当期純利益 | 536,576 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 141,379 |
| 法人税等調整額 | △52,979 |
| 法人税等合計 | 88,399 |
| 当期純利益 | 448,176 |
| 繰越金(当期首残高) | 1,008,182 |
| 地域貢献積立金取崩額 | 2,050 |
| 当期末処分剰余金 | 1,458,408 |

(注)1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。 2. 出資1口当たり当期純利益金額20円41銭。
3. 「その他の特別損失」は、地域貢献関係費用2,050千円であります。

第99期 剰余金処分計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|---------------|
| 当期末処分剰余金 | 1,458,408,711 |
| 積立金取崩額 | 600,000 |
| 利益準備金限度超過取崩額 | 600,000 |
| 合計 | 1,459,008,711 |
| 剰余金処分額 | 451,913,424 |
| 普通出資に対する配当金(年2%) | 21,913,424 |
| 特別積立金 | 430,000,000 |
| (うち特別積立金) | 410,000,000 |
| (うち創立100周年記念事業積立金) | 20,000,000 |
| 繰越金(当期末残高) | 1,007,095,287 |

以上のとおりであります。

令和5年6月19日

白河信用金庫

理事長 牧野 富雄
専務理事 平江 勇
常務理事 錦織 秀男
常務理事 大高 健造
常勤理事 矢内 文明
常勤理事 金澤 典雄
常勤理事 鈴木 太一郎
理事 片野 直紀
理事 吉川 幸雄

以上各項を精査の結果、その正確であることを認めます。

常勤監事 鈴木 一永
常勤監事 鈴木 秀俊
員外監事 小針 洋司

○監査法人の監査

令和5年6月16日開催の第72回通常総代会で承認を得た貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、太陽有限責任監査法人の監査を受けております。

○財務諸表の正確性・内部監査の有効性

令和4年度における貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書(以下、「財務諸表」という。)並びに財務諸表作成に係る内部監査等について適正性・有効性等を確認しております。

令和5年6月19日

白河信用金庫

理事長 牧野 富雄

【基本方針】

積極的健全経営と和協を旨とし
地域社会の幸福と繁栄のため
金融を通じ真心をもって奉仕する

中期経営計画 (2021年度～2023年度)

～夢と希望の実現へ未来を変えていく～

目指すべき姿

当金庫は、人口減少・少子高齢化社会を迎えるこの地域で重点戦略の推進を通じてお客様と共に豊かな地域の未来を創造しつつ、経営の効率化と収益力の向上に取り組む。

5つの重点戦略

- 1 経営力・収益力の強化
- 2 支援力・営業力の強化
- 3 人材力・組織力の強化
- 4 業界総合力の発揮
- 5 マネロン・テロ資金供与リスク管理態勢の構築

令和4年度(第99期)決算ハイライト

預金

預金は、個人預金が増加しましたが、法人・地方公共団体預金の減少により、前期末比9億円減少の2,436億円となりました。

貸出金

貸出金は、個人消費向け貸出が増加しましたが、事業者向け・地方公共団体向け貸出の減少により、前期末比12億円減少の1,003億円となりました。

利益等

貸出金利息収入の減少等がありましたが、経費削減等に努め、当期純利益は4億4千8百万円を計上することができました。

自己資本比率

地域金融機関の健全経営のバロメーターであります自己資本比率は、前期末比0.36ポイント低下の20.01%となりましたが、国内基準の4%を大きく上回っております。